

## 東村山センター1階の固定ラックに衝撃。 「置いてある品物1つ1つに行き先があるんだ！」

－入社きっかけ－

もともと大学の商学部で物流のことは学んでいました。陸運に絞って、ウインローダーの説明会に行った時に社長が出てきたことにすごく衝撃を受けました。当時、社長が説明会に出てくるって他になかったの。そのあと、東村山センターに行ったのですが、そこで一階の固定ラックを見てさらにびっくりしました。今までの日常で見てこない光景じゃないですか。置いてある品物1つ1つに行き先があると思ったら、それがすごいと思いました。父親も物流関係の仕事をしていたので、自然とこの業界になったのかなとも思います。他の運送会社も何社行ったけど、雰囲気や暗い会社もある中で、ウインローダーは雰囲気や良かったり、各現場の社員の方が良い人だったのでそれが決め手になりました。

## ドライバーの皆さんへの 尊敬

－仕事で大切にしていること－

仕事で大切にしていることは「相手（ドライバー）の気持ちになること」ですね。私が運転できなくて、それなのにドライバーの皆さんはあんなに大きなトラックを運転して、事故せず帰ってくる。尊敬というか、凄いなと思うんです。だからこそ、電話一つとっても、何回も電話しないように1回で済ませるとか、（相手の気持ちに立てているかは分からないけど、笑）相手の気持ちになってコミュニケーションを取ることを心がけています。

# 綿井 霞

の見える世界 2022年4月1日

物流の仕事は好きです。

人の生活を支える上で大切な仕事だと思う。

管理本部の綿井さんは、この春8年目を迎えました。物流業界に興味を持ち入社。フォークリフトの免許も取得し、ドライバーの皆さんを支えるため、事務業務に広く対応しています。そんな綿井さんが日々想う「大切にしていること」をはじめ、仕事をしているからこそ癖になってしまった「仕事あるある」話をお聞きました。

ウインローダーのコーポレートサイトのトップ動画にもご登場いただいている綿井さん。昨年サイトをリニューアルし、現在は月に3,000~5,000回ほどのアクセスがあります。まだゆっくりご覧になっていない方は、ぜひこの機会にご覧になってください。※サイトは「ウインローダー」で検索、またはこちらのQRコードから→



## 全員が会社の顔。

### 一步先を想像できるといいですね

自分もそうだけど、トラックに乗っている以上、社名を名乗る以上は、「会社の顔」という意識を持たなければいけないと思います。

お客様からお叱りのお電話をいただくこともあり、それも態度一つのことについてだったりすることが多くて。すぐもったいないと思うんですね。何気ない行動も人を傷つけてしまうことがあるということを意識した方がいい。

私も常に「会社の顔」ということを意識できているかと聞かれるとわからないけど、「物流は大事だ」と、やっと言われてきている中なので、今一度、自分たちの価値をあげるために、といういい方は違うけれど、、、荷物をもらっている路線さんにも迷惑がかかる、そうした一步先を想像できるようなるといいなと思います。

## 「路線さんのトラック・支店を見ちゃう」あるある



帰省先や、出かけた先でも、路線さんのトラックはすごく見ますね（笑）。「どの支店なのかな？」と思ったり、実家（新潟）でも、「あ、新潟支店はここなんだ」と思ったり。あとは、地名については強くなりますよね。「〇〇市」と言われたら何県かすぐに分かるとか。



## 私の履歴書

入社後に東村山倉庫課に入りました。当時は2マンの家具配送をしていたので、主に家具のピックアップに携わっていました。フォークリフトの免許を取ったり、ほんとに現場の仕事をしていましたね。その後昭島センターに行きました。それまで自分で伝票を出したりと事務作業もこなしていたので、昭島からお声がかかりました。そして東村山センターに事務管理課として戻ってきて今に至ります。今の一日のスケジュールは、出勤して倉庫の引き取りの業務をしつつ、9時になったら電話を取り始める。合間に倉庫の発送が入るのでそれをやりつつ、売り上げを打ったり、あとは「集荷してほしい。」「運賃を知りたい」といった電話の問い合わせを受けています。